

平成 29 年度

教育委員会点検・評価報告書

平成 30 年 7 月

柳津町教育委員会

目 次

はじめに

I	教育委員会の活動状況	-----	2
II	教育委員会重点施策点検・評価一覧表	-----	6
III	各重点施策の点検・評価	-----	9
	①	生きる力を育む学校教育の充実	10
	②	郷土を愛する心を育む青少年の健全育成	38
	③	生きがいを感じる生涯学習の推進	43
	④	健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進	46
	⑤	地域の伝統文化の継承と文化財の保存	50
IV	点検・評価に関する有識者の意見	-----	54
	1	点検・評価に関する有識者名簿	
	2	点検・評価に関する有識者の意見	

《 資 料 》

・	柳津町教育委員会の点検・評価の概要	-----	57
・	柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の		
	点検評価実施要綱	-----	58

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員

職名	氏名	備考
教育長	目黒健一郎	着任：平成24年4月1日から 任期：平成31年9月30日まで
職務代理者	鈴木礼	着任：平成28年10月1日から 任期：平成32年9月30日まで
委員	鈴木昭一	着任：平成26年10月1日から 任期：平成30年9月30日まで
委員	鈴木亘	着任：平成28年10月1日から 任期：平成31年9月30日まで
委員	二瓶伸博	着任：平成29年11月4日から 任期：平成33年9月30日まで

2 教育委員会の開催状況

- 定例会 12回
- 臨時会 2回

3 教育委員会での審議（協議）内容

月日	回数	主な審議（協議）内容
4/28	1	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況について
5/26	2	6月議会定例議会に提案する条例の一部改正と補正予算等、各研修会、柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況報告について
6/27	3	総合教育会議、柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、平成28年度柳津町教育委員会点検・評価報告、6月定例議会一般質問について
7/25	4	平成30年度使用小学校教科用図書の採択、柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、海外派遣事業、美術館事業について
8/28	5	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、全国学力・学習状況調査結果、美術館の取組、子ども議会の開催等について
9/28	6	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、9月定例議会一般質問等、ふくしま駅伝、子ども議会の結果について
10/27	7	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、教育関係者自治功労者表彰、町振興計画、美術館「ムンク×齋藤清展」について

11/6	8	(臨時会) 新教育委員会委員任命に伴う委員番号等の指定について
11/28	9	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、美術館「ムンク×齋藤清展」について
12/25	10	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、12月定例議会一般質問について
1/26	11	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、平成30年度当初予算、教職員人事配置、特別支援教育の支援関係、図書館活用、教育力向上、生涯学習、美術館関係について
2/28	12	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、3月定例議会学校条例改正等、補正予算・当初予算について
3/5	13	(臨時) 教職員の人事異動について
3/28	14	柳津町統合中学校開校準備町民会議内容報告及び進捗状況、平成30年度当初予算、3月定例議会・重点施策について

4 教育委員会委員の主な活動 (学校行事・研修、生涯学習関係行事等)

月	日	主 な 活 動	委員参加人数
4	4	新任教職員歓迎披露式	5
	6	小中学校入学式	5
5	10	柳津町教育研究会総会	5
	12	柳津町PTA連絡協議会総会	5
	20	小学校運動会	5
	29	両沼教育委員会連絡協議会春季総会	5
7	25	町小学校水泳記録会	4
	26	県市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会	4
8	15	成人式	5
	22	県市町村教育委員会連絡協議会支会長等研修会	4
9	30	小学校陸上記録会	3
10	14	西山小さきらきらフェスタ	4
	21	西山中文化祭	3
	22	柳津中文化祭	4
	28	柳津小秋まつり	4
	31	両沼教育委員会連絡協議会秋季総会	4
11	4	青少年の主張発表大会	4
	19	ふくしま駅伝競走大会	4
	21	町教育研究会全体研修会 (西小)	3
	4	青少年の主張発表大会	4

1	5	町民年頭賀詞交歓会	3
	9	柳津町PTA連絡協議会新年会	4
3	13	中学校卒業式	4
	23	小学校卒業式	4
	28	教職員離任式	4

5 教育委員会活動の情報発信

○ 町広報誌「広報やないづ」に教育委員会主催行事等を掲載

○ 平成 29 年度「広報やないづ」

9 月号 平成 30 年 4 月 1 日開校の「柳津町立会津柳津学園中学校の準備等進捗」について掲載

12 月号 平成 30 年 4 月 1 日開校の「柳津町立会津柳津学園中学校校歌の歌詞及び新たな制服」について掲載

2 月号 平成 30 年 4 月 1 日開校の「柳津町立会津柳津学園中学校の校章と生徒の運動着」について掲載

○ 「やないづ教育ねっと」に各種情報を掲載

Ⅱ 教育委員会重点施策点検・評価一覧表

II 柳津町教育委員会重点施策点検・評価一覧表

重点施策	基本事業	主な事務事業	達成度	事務担当班
生きる力を育む学校教育の充実	1 確かな学力の向上	「学力向上グランドデザイン」による学習指導 柳津町学力向上推進事業(町教研への委託) 柳津町教育研究会の活動 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施	B	学校教育班
	2 健やかな体の育成	学校保健体育、部活動の指導 食育計画の作成と指導 全国体力テストの実施	B	
	3 豊かな心の育成	道徳教育・特別活動における指導 体験的活動・ボランティア活動の重視 学校図書を整備と読書活動の推進 いじめ、問題行動等の早期発見、早期対応	A	
	4 特別支援教育の充実	校内就学指導委員会の開催 特別支援学級の整備 教育支援委員会との連携した指導	A	
	5 小中連携教育の推進	小・中学校間連携教育の推進 小・小、中・中学校間連携教育の推進	A	
	6 情報教育・国際理解教育の充実	学校教育用パソコン等ICT整備事業 外国青年(英語指導助手)招致事業	B	
	7 教育環境・条件の整備充実	統合中学校開校準備事業 学校施設等改修整備事業 教材教具整備事業 就学援助事業 児童生徒通学費補助事業 教員住宅管理事業 スクールバス運行事業 特別支援教員等の配置	B	
郷土を愛する心を育む青少年の健全育成	1 郷土を愛する心の育成	児童生徒の地域行事への参加促進 青少年の主張発表大会の開催 青少年育成町民会議運営事業 成人式の開催 中学生海外派遣事業「ふれあいの翼」	A	生涯学習班
	2 家庭教育の充実	家庭教育講座の開催	A	
	3 学校教育と社会教育の連携・融合	子どもチャレンジ事業 スポーツ少年団活動	A	
	4 子どもの居場所づくり	放課後子ども教室推進事業	A	
	5 防犯ボランティアの活用	見守りボランティア会議の開催 見守りボランティア活動支援	A	学校教育班

生きがいを感じる生涯学習の推進	1 生涯学習推進体制の整備 充実	社会教育委員会の開催 各機関団体連絡協議会の開催 柳津婦人会運営補助事業	A	生涯 学習班
	2 多様なニーズに応える学習 機会の充実	高齢者学級「福寿学園」「養寿学園」の開催 成人学級「悠友倶楽部」の開催 伝統工芸教室の開催 料理教室の開催	A	
	3 生涯学習施設・設備の整備 充実	活性化施設「ふれあい館」管理運営事業 図書館整備事業 地区集会所施設の整備補助事業	A	
健康な生活を めざすスポー ツ・レクリエー ションの推進	1 生涯スポーツの意識啓発と スポーツ活動の充実	各種町民スポーツ大会等の開催 県総体県民スポーツ大会への参加 ふくしま駅伝競走大会への参加 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への 町体育協会運営補助事業 スポーツ推進委員会の開催と活動	A	生涯 学習班
	2 総合型地域スポーツクラブ の充実	赤ベクトータルスポーツの活動支援 赤ベクトータルスポーツの運営支援	A	
	3 スポーツ施設・設備の整備 充実	運動公園施設整備事業 B&G指導者育成事業	A	
化の継承と文 化財の保存	1 町民の文化活動の充実	文化協会、各種文化団体の活動 柳津町文化祭の開催	A	生涯 学習班
	2 地域の伝統文化の継承	地域伝統文化団体の育成と支援	A	
	3 やないづ町立斎藤清美術 館の充実	齋藤清展事業【※「ムンク×齋藤 清展」開催】 県外齋藤清展推進事業 アート・コミュニケーション、ミュージアム・アメニティ事業 作品購入等事業	A	美術館 班
	4 文化財の保存と活用	町文化財保護審議会の開催 町指定文化財管理事業 天然記念物カモシカ処理事業 文化財火災防御訓練の実施	A	生涯 学習班

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

Ⅲ 各重点施策の点検・評価

[生きる力を育む学校教育の充実]

【達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分 以下同じ】

基 本 事 業		1 確かな学力の向上
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導 (2) 柳津町学力向上推進事業 (町教研への委託) (3) 町教育研究会の活動 (4) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施	
成果と評価	柳津小 B 西山小 A 柳津中 B 西山中 A	全体としての達成度
		B
次年度への課題	町全体としては ・学校での授業内容の定着を図り、学習習慣を育成する家庭学習のあり方について改善すること。 ・思考力、判断力と活用力、表現力の育成に努力し、施策の目標 (全国標準学力検査で53) を達成する。	

基 本 事 業		2 健やかな体の育成
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 学校保健体育、部活動の指導 (2) 食育計画の作成と指導 (3) 全国体力テストの実施 教育委員会において次の指導や活動・事業を実施した (1) 学校給食運営協議会の開催 ○ 年2回の開催 (6月8日、3月20日) ○ 予算・決算、食育計画等の協議 ※ 学校給食センター建設工事にかかる調査・設計実施	
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳津中 B 西山中 B	全体としての達成度
		B
次年度への課題	町全体としては ・個別の課題への対応を確実に進めて、施策目標 (体力テストで50) を目指して体力向上を図る。 ・中学校の部活動については学校の状況をふまえて今後のありかたを検討し、保護者及び校内での共通理解を図る。	

基本事業		3 豊かな心の育成	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 道徳教育・特別活動における指導 (2) 体験的活動、ボランティア活動の重視 (3) 学校図書整備と読書活動の推進 (4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応		
成果と評価	柳津小 A 西山小 B 柳津中 A 西山中 A		全体としての達成度
			A
次年度への課題	町全体としては ・学校支援地域本部事業や公民館の人材派遣制度を活用して体験活動やボランティア体験等を充実させる。 ・いじめ防止の基本方針に沿って学校と協働、支援し早期発見と早期対応に努める。		

基本事業		4 特別支援教育の充実	
取組の状況	特別支援学級の整備及び取組の状況等 【 柳津小における状況は 別紙 P16 】 【 西山小における状況は 別紙 P23 】 【 柳津中における状況は 別紙 P28 】 【 西山中における状況は 別紙 P34 】		
成果と評価	全体としての達成度	A	
次年度への課題	町全体としては ・特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、一人一人にあった適切な就学のあり方を実現するために、特別支援学級の設置に努め、保護者の相談を受ける体制を充実する。 ・小学校における個別の指導の積み重ねを中学校でも共有して、継続的で個に応じた指導が実践できるよう小中間で連携する。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		5 小中学校間連携教育の推進	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 小中学校間連携教育の推進 (2) 小小、中中学校間連携教育の推進		
成果と評価	柳津小 B 西山小 A 柳津中 A 西山中 A	全体としての達成度	
		A	
次年度への課題	町全体としては ・小中連携に加えて保育所と小学校の連携を定期的、継続的に実施する。 ・小学校2校間で、それぞれの良さを生かしつつ、中学校も視野に入れた連携を実施する。		

基本事業		6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	町教育委員会において次の事業を実施した。 (1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業 ○ 各学校の実態と教職員の意向を重視したICT機器の整備計画をもとに、財政担当と協議し、数年間で整備する年次計画を作成。 ○ タブレット型PCの導入を実施。 (2) 外国青年(英語指導助手)招致事業 ○ 町単独でALTとしてアメリカ出身の男性を1名。招致事業を今年度も継続実施。 町内各校においては、教育委員会の事業を受けて、別紙次のような内容の指導や活動・事業を実施した		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳津中 B 西山中 B	全体としての達成度	
		B	
次年度への課題	町全体としては ・ICT活用のためには教員が機器に慣れ、技能を向上させるための研修を実施する。 ・ALTのより効果的な活用を図るために、ALT自身がT1としての担任教員と授業イメージを共有し、分担を話し合う時間を確保する。		

【生きる力を育む学校教育の充実】

基本事業	1 確かな学力の向上	
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員での見直しと実践事項の共通理解 ○ 全員がわかる・できることをめざす授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が分かるめあての設定とまとめの時間の確保 ・学習内容の確認と補充指導 ・T・T指導や単元の最後に復習の時間の確保 ・単元ごとの定着の確認と補充（単元テスト、定着確認シート） ○ 読書量を増やす <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の読書タイムの設定 ・読み聞かせボランティア、中学生読み聞かせによる読書意欲の高揚 ○ 学習の環境作り <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の約束」の掲示と活用、学期ごとの自己評価 ・「学習コーナー」の設置 ○ 家庭学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」「家庭学習スタンダード」の活用と保護者との連携 ・メディアコントロール週間の設定や自主学習の習慣化 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業（町教研への委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自ら考え、表現できる子どもの育成」を目指した校内研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を取り入れた授業の改善 ○ 赤ベコプランの確実な実施 <p>(4) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国・県学力調査の結果分析による課題の把握と補充指導 ○ 全国標準学力検査の結果分析と補充指導、学力向上学年プラン（国・算）の設定 ○ フォローアップシートの活用 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学力向上グランドデザイン」による学習指導 「分かった・できた」と自信を持って言える児童の育成をめざし、授業では、めあてやねらいを明確にするとともに、授業の終末に学習したことを振り返る時間を確保した。また、算数コーナーの設置などの環境整備に努めた。 ○ 教頭、教務や支援員によるT・T指導や取出し指導により、つまずき克服のための個別指導に重点をおいて指導した。家庭学習の手引きを配付し、家庭と連携し家庭学習の習慣化を図った。 ○ 「読書活動を取り入れた授業づくり」を推進した。 ○ 全国標準学力検査の結果を分析し本校の課題を明確にし、補充指導に生かすとともに、各学年の国算プランの設定に生かすことができた。 ○ 「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の活用を図り、授業の改善と自己マネジメント力の育成を図ってきた。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国標準学力検査の結果を踏まえ、学年プランの改善を図るとともにT・Tによる指導や支援員の活用等により個に応じた指導を一層充実させ、発展的な方向に能力を引き伸ばせるようなきめ細やかな指導の工夫改善に努めたい。特にアンダーアチーバーの減少に力を入れていきたい。また、児童同士の学び合いや教え合いを大切にしたい。 ○ 読書活動を「自ら考え、表現できる子どもの育成」にどう生かすか研修を進めたい。 ○ 定着確認シートやフォローアップシートなど効果的に活用し、基礎学力の確かな定着に努めたい。 ○ 家庭学習や自主学習の取り組み方について、今後も家庭との連携を密にしてよりよい方向に改善していきたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	2 健やかな体の育成	
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動への意欲や技能を高める指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「運動身体作りプログラム」を取り入れた授業実践 ・朝のマラソンや縄跳びの奨励 ○ 町小学校水泳記録会や陸上記録会へ向けての教科体育、課外練習の充実 ○ 外部人材の活用 ○ う歯の治療率を高めるための保護者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きカレンダー、カラーテスターの実践 ○ 町小・中学校合同による学校保健委員会の実施 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝食摂取率 100 % 週間」運動の実施 ○ 「わたしが作る朝ご飯コンテスト」への応募 ○ 「全国学校給食週間」での取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・「給食の歴史」の紹介、特別献立の実施など ○ 「自分で作るお弁当の日」(年 2 回) の実施 <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新体力テストの結果分析と体力向上推進計画を踏まえた指導の充実 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「運動身体作りプログラム」を授業に取り入れ、実践できた。 ○ 町小学校水泳・陸上記録会では、児童が自己のめあてを持って意欲的に練習に取り組み、成果を上げることができた。 ○ 体育アドバイザーの活用やキッズサッカー教室、特別非常勤講師による表現活動(ダンス)を実施できた。 ○ 栄養技師と連携しながら食育指導について継続的に取り組んできた。食べ方や偏食について指導し、少しずつ改善が見られるようになった。 ○ 「自分で作るお弁当の日」を実施した結果、家族と一緒に意欲を持って楽しんで作る児童が多くなってきた。 ○ 体力テスト結果を分析し、指導に生かすことができた。 	<p>達成度</p> <hr/> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新体力テストの結果をもとに本校の課題を分析し、重点的な指導に努める。 ○ 教科体育の充実を核とし、他の体育に関する指導との関連を図りながら、継続的に体力・運動能力の向上に努めたい。 ○ 栄養技師との連携を図った食育に関する授業実践を進めたい。 ○ 肥満傾向を持つ児童や、偏食が見られる児童については、学校における食育及び給食指導をはじめ、家庭との連携を図りながら継続的に指導していきたい。 ○ 日課表に業間マラソン(冬期間はなわとび)を位置づけ、体を動かす機会を増やし体力や運動能力を高めたい。また、本校の課題を改善するような体力向上推進計画を全職員で共通理解し実践したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育・特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の時間を充実し、道徳的実践力を高める。 ○ 道徳教育の指導内容を日常生活に生かす。 ○ 主体的に活動できるよう支援し、自主的・自律的な態度や互いに賞賛し合える態度を育てる。 ○ 自己理解を図るとともに、自己存在感や成就感を高める。 ○ 「特別の教科道徳」の実施へ向けた校内研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程、別葉の作成 ・評価の研究 <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 米づくり体験活動(4・5年) ※地主さん、JA、農青連の協力 ○ 森林環境学習(全学年) ※町農林振興班の協力 ○ 合同宿泊学習(5年)、合同修学旅行(6年) ○ 各教科、総合的な学習、生活科における体験的活動(各学年) <ul style="list-style-type: none"> ・町の観光、歴史、町探検、見学、調査など多数 ・西山小との交流学习の充実 <p>(3) 学校図書 of 整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通した朝の読書活動の推進(全学年) ○ 各学年月1回の読み聞かせの実施(町読み聞かせボランティアの活用) ○ 図書室の整備と図書館司書との連携による読書意欲の喚起 <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育相談(児童年3回、保護者年1回)といじめアンケートの実施 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種行事や体験活動を通して、子どもたちに達成感や充実感を持たせることができた。 ○ 柳小秋まつりでは、日頃の学習の成果を発表したり、農園活動での感謝の心を伝えたりすることができた。 ○ 図書の補充やエアコンの活用など、図書室における読書環境を充実させることができた。 ○ 中学生の読書ボランティアによる読み聞かせを通して、児童の読書意欲を高めることができた。 ○ いじめ問題の早期発見と早期対応について、共通理解を図りながら組織として取り組むことができた。 	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町学校支援事業を活用し、コーディネーターと連携を図る。また、地域素材を活用して児童の体験を深めるとともに、人材活用の要請に努める。 ○ 図書館司書を中心に、より一層読書活動を推進するとともに、図書室の効果的な活用を図っていく。 ○ メディアコントロール週間など家庭、地域との連携をより密に図りながら児童を取り巻く現代的な課題の解決をめざしていく。 ○ 児童の実態に応じて「学校いじめ防止基本方針」を改善しながら、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。 ○ 統合中への進学へ向けて、西山小との交流学习をさらに充実させる。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 校内就学指導委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学級の在籍児童、及び次年度特別支援学級入級希望者の情報提供 ○ 各児童の情報及び専門委員による観察結果をもとにした、就学に係る審議 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍児童（情緒障がい学級）… 3学年男児 1名 ・次年度入級希望児童（知的障がい学級）… 1学年男児1名、2学年男児1名 ○ 定期的に特別支援教育委員会を開催し、特別な支援を要する児童の支援状況について共通理解を図る。 <p>(2) 特別支援学級の整備と新設への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情緒障がいを持つ特別な支援を要する児童に対する指導支援 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級（みつば学級）担任を中心とした交流学級担任との連携 ○ 外部機関や保護者との連携・協議 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、町教育支援委員会、医療機関との連携 ・保護者との懇談と共通理解 ・実態に応じた教育課程の編成 <p>(3) 取り出し指導によるソーシャルスキルの育成</p> <p>(4) 町教育支援委員会との連携した指導</p>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育支援員が通常学級における特別な支援を要する児童の指導支援に当たることにより、児童一人一人のニーズに応じたきめ細かな指導支援を行うことができた。 ○ 複数の通常学級に在籍する特別な支援を要す児童に対し、担任外教員や特別支援学級担任が適宜支援を行うことができた。 ○ 定期的に校内特別支援・就学指導委員会を開催し、特別な支援を要する児童の支援の状況について確認し、全職員が同一歩調で組織的に支援を行うことができた。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の指導計画や支援計画に基づき、計画的な指導・支援を行うとともに記録簿を作成し累積する。定期的なケース会議を開催し児童の状況を客観的に把握し、指導・支援の改善を図るようにする。 ○ 必要に応じてスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、町保健師、養護学校、会津教育事務所、医療機関などの関係機関との連携を図り適切な就学指導に努める。 ○ 担任と支援員との打合せ時間を確保し連携を図って指導支援に当たっていく。 ○ 新設される特別支援学級（知的障がい）のスムーズな学級経営ができるようにするとともに、組織的な取組ができるようにする。 ○ 必要に応じて、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童へ対しての、取り出し指導の時間・方法等の充実を図る。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		5 小中学校間連携教育の推進
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携授業参観の実施 (現職教育研究授業を通して) ○ 小中連携協議会実施 (年2回) ○ 小中合同奉仕作業の実施 (年1回) ○ 中学生による小学1・2年生への読み聞かせ教室 (年1回) ○ 中学生による小学5・6年生への学習ボランティア活動の実施 (算数科 年1回) ○ 小学6年生の中学校体験学習の実施 (年1回) ○ 合同避難訓練の実施 (年1回) <p>(2) 小・小、中・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行事前学習会 (2回) ○ 合同修学旅行 ○ 宿泊学習事前学習会 (2回) ○ 合同宿泊学習 ○ 交流学習会 (1～6年各2回) ○ 町水泳記録会、町陸上記録会 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 柳津小学校、柳津中学校のそれぞれの授業を参観し合うことで、児童生徒の実態を把握したり、職員 of 指導力向上を図ったりすることができた。小学校・中学校の学習の円滑な移行を実現することができた。 ○ 各校の校長・教頭・教務主任・研修主任・生徒指導主事・養護教諭による小中9年間を通じた系統的・継続的な学習指導・生徒指導・健康指導についての協議を通して、共通理解を図り、課題解決に向けて同一歩調で取り組むことができた。 ○ 柳津中学校1、2年生による柳津小学校5年、6年の学習支援活動は、児童・生徒とも良い刺激となり、自己の学習について振り返る良い機会となった。 ○ 保育参観や体験入学など、保育所との交流や連携を計画的に行うことができ、教育効果を上げることができた。 	
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携については、次年度もお互いに連絡を取り合っ、校内授業研究会の授業参観、学習ボランティア、読み聞かせ、奉仕作業など今年度の取り組みに改善を加えより教育効果を高められるよう具体的な手立てを講じる。 ○ 西山小学校との交流については、統合中学校への進学に向けてスムーズな学校生活を実施するために今後とも充実させていく。また、保育所との交流・連携を可能な範囲で継続し小1プロブレムの解消に努めていく。 	

達成度

B

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等 I C T 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ P C に親しませること、情報モラルの高揚に努めた。 ○ 電子黒板とデジタル教科書の導入により学習の効率化を図った。また、きめ細やかな指導の充実に努めることができた。 ○ ipad の活用に向けた校内研修の実施を図った。 <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語指導助手を導入した外国語授業の充実 ○ 外国の文化、生活に触れる体験活動の実施 <p>(3) 英語科の実施へ向けた校内体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 先進校の視察 ○ 研究公開への参加と指導力の向上 ○ 計画的・段階的な教育課程の編成 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ P C を調べ学習に活用することで、情報収集能力を高めるとともに P C 利用のきまりを指導することができた。 ○ 電子黒板やデジタル教科書を利用することにより、学習意欲を高めるとともに効率的・効果的な学習指導を進めることができた。 ○ 英語指導助手を活用したことにより、発音やイントネーションなどを生の音声英語に触れながら学ぶことができた。 ○ 英語指導助手との触れ合いは、母国での生活の様子など、外国の文化を理解する良い機会となった。 ○ デジタル教材により、映像で外国の様子を知ることができた。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ P C や ipad、電子黒板を有効に活用するための教員研修を実施し、I C T 機器を授業の中でより効果的・積極的に活用できるようにする。 ○ 毎時間の外国語活動の指導内容や方法について英語指導助手と担任で連絡を密に取り合っ、児童への指導の効果が上がるようにしていきたい。 ○ 英語科完全実施へ向けた計画的な準備と、職員の指導力の向上を図る。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上	
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的に「ふくしまの『授業スタンダード』」を活用するとともに、授業研究（指導案作成、事後研究会）の際の基礎とした。また、町「赤べこプラン」を適宜活用し、共通指導事項とした。 ○ 家庭学習の習慣化を図るとともに、読書活動（朝の読書、家読、家読リレー等）の推進を図ってきた。 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業（町教研への委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上グランドデザインの見直しを年間3回行い、実態にあったプランの作成、実践を行ってきた。 ○ 授業研究の際には他校にも実施案内をし、授業や研究内容に指導助言を受けた。11月の公開授業研究会では、町内だけでなく、三町村指導委員にも参観いただき、指導助言を受けることができた。 ○ 研究先進校に教員を派遣し、先進的な指導方法を研修するとともに、伝達講習会をとおして、全職員に共有を図り、日常的に取り組むよう周知した。 <p>(3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力調査、県学力調査、NRT学力検査実施前には、既習事項の確認を行うとともに、実施後には自己採点をし、事後指導をなるべく早く行うよう努めた。また、達成状況を全職員で共有し、指導に生かすようにしてきた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書活動の日常化がこれまでの課題であったが、様々な手立てをとおして推進することにより、定着しつつある。 ○ 学力向上グランドデザインの見直しを繰り返し行うことにより、児童の実態に応じた手立てをとることができた。 ○ 研究先進校での指導方法を取り入れた授業を行う教員の姿が見られた。 ○ 全国学力調査・県学力調査（各テスト国語103%、算数102%）、NRT学力検査（偏差値53.0以上）とも、目標数値を達成している。さらに数値にとらわれず、学力向上を図っていききたい。 	達成度 A
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の定着、家読リレーの取り組み等には家庭の協力が必要であるが、十分に協力が得られていない。家庭への啓蒙を図っていききたい。 ○ 全国学力調査、県学力調査、NRT学力検査とも、目標数値を達成しているが、数値にとらわれず、さらに学力向上を図っていききたい。 ○ 道徳、ICT関係の研究先進校への派遣を行ったが、外国語活動の研究先進校へも教員を派遣していききたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業	2 健やかな体の育成	
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 始業前の陸上指導(週3回)、杉っ子タイム(業間体育)、町陸上記録会前の特別陸上等、日常的に体力向上を図ってきた。 ○ 全学級において運動身体づくりプログラムを実施し、基礎体力の向上を図ってきた。 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食指導計画のもと、学校食堂にて全校給食を実施してきた。意図的なグループ編成により、楽しい給食の時間になるよう努めるとともに、偏食傾向のある児童には時間をかけて丁寧に指導してきた。 ○ 町栄養士をゲストティーチャーに招聘して、学級活動の時間に食育指導を実施した。 <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的な体育指導に加え、体力テスト実施前にはやり方の指導をし、体力・能力を発揮できるようにした。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストでは全国水準を上回る結果となっている。始業前、業間等の授業以外の取り組みも成果の一因となっていると考える。 ○ 町水泳記録会、町陸上記録会等、対外行事でも多くの児童が入賞した。特に全国陸上競技交流大会では、リレーチームが県大会出場を果たすことができ、児童の自信につながった。 ○ 食育指導を継続してきた結果、残食が減り、偏食傾向のある児童も少しずつ苦手なものを食べられるようになってきた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育指導の研修を深め、より「楽しい体育」の授業が展開できるようにしていく。 ○ 体力・運動能力の陥没点の底上げを図り、さらに体力・運動能力の向上を目指していく。 ○ 生活習慣が定着していない児童、家庭が見られるため、より一層食育、保健指導の充実を家庭との連携を密にしながら意識高揚を図っていく。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の授業の充実に努めることとともに、全職員が機会をとらえて指導してきた。 ○ 学級活動、クラブ活動、児童会活動、学校行事等をとおして、自主性や実践的な態度を育てられるよう、発達段階に合わせた指導を行った。 <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 老人クラブ（健幸クラブ）との交流会を年2回実施し、お年寄りとの交流を図った。 ○ 各学級で校舎内や学校周辺の清掃、保育所での読み聞かせを行うなど、ボランティア活動を推進した。 <p>(3) 学校図書の整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じて図書の管理、購入を計画的に行い、読書環境の充実に図ってきた。 ○ 朝の読書活動、家読（うちどく）、家読リレーを継続的に行ってきた。 ○ 県立図書館より「あづま号」に来校してもらい、新たな本との出会い、本を読む喜びを味わうことができた。 <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童との教育相談を年2回実施するとともに、家庭訪問、個別懇談をとおして保護者と情報交換を行った。 ○ 毎月、生徒指導協議会を開催し、児童の生活の様子について、情報の共有を図った。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育、ボランティア活動の充実に図ってきたことにより、思いやりの心が育ってきている。その結果、いじめと認知される案件は見られなかった。 ○ 読書活動を学校経営の柱として、様々な取り組みを継続的に行ってきた結果、以前より本に触れる機会が増え、読書冊数が増加した児童が多く見られた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度から始まる「特別の教科 道徳」の充実に図る必要がある。それぞれの教員が研修を深めるとともに、それぞれが研修したことを共有していきたい。 ○ 体験的活動、ボランティア活動の充実に図り、ねらいに即してより効果的に実施していきたい。 ○ 家読、家読リレーの充実に家庭への啓蒙を図るとともに、児童が意欲的に読書に取り組むことができるよう、発達段階に応じた指導を行っていく。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の特別支援教育担当が町教育支援委員会に出席し、そこで学んできたことや情報を本校教職員間で共有し、指導に生かしてきた。 <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校特別支援学級（情緒）は設立3年目を向かえ、計画的な指導を行うことができるようになってきた。また、実態に合わせた自立活動の時間の確保に努めた。 ○ 個別の支援計画の作成、見直しを行い、児童の実態に応じた指導に努めてきた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町教育支援委員会での情報を教職員間で共有することにより特別支援への理解が深まり、実際の指導に生かすことができた。 ○ 次年度の教育課程編成の際には、自立活動の時間を多くの教科から確保するなど、実態を考慮した教育課程編成に取り組むことができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 24pt;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育についての研修を継続するとともに、町教育支援委員会で得た情報を共有し、さらに効果的な特別支援教育を進めていきたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

【 生きる力を育む学校教育の充実 】

(学校名 西山小学校)

基 本 事 業	5 小中連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西山小中合同での駅伝大会、ロードフラワー、避難訓練等の様々な行事をとおして児童生徒の交流を図ってきた。 ○ 小中全体協議会や小中連絡会を行うことにより、児童生徒についての情報交換や行事計画についての協議を行った。また、小中それぞれの研究授業を相互参観したり、校内服務倫理委員会を合同で行ったりした。 <p>(2) 小・小、中・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の交流学习を柳津小と西山小の年間計画に位置づけて実施した。また、青少年の主張大会当日には、本校児童全員が柳津小に出向き、全学年で交流学习を実施した。 ○ 修学旅行、宿泊学習や町水泳記録会、陸上記録会等の行事を合同で行ってきた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な行事等をとおして、小・小連携、小・中連携を深めることができた。また、行事を実施することによって児童生徒同士の関係が深まり、統合中学校への進学に効果があると評価できる。 	達成度 A
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西山中学校の閉校に伴い会津柳津学園中との小中連携を進めていく必要がある。計画的に行事等を実施するとともに連携の状況を省察的にとらえ、次年度以降の教育課程に生かしていく必要がある。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等 I C T 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町教育委員会のご協力により、i P a d の台数確保やアプリの整備が進み、児童が必要なときに使うことができる状況が整ってきた。 ○ 授業での活用を図ってきた。児童の調べ学習はもちろん、学習場面に合わせて授業者が様々な方法を用いてきた。 <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間計画に沿って、外国語活動のアシスタントとして活用してきた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ i P a d の台数が整備されたことにより一人 1 台使用できるようになり、使用頻度が増加し、活用能力が目に見えて向上してきた。また、プログラミング教育に使用するアプリなどが整備されたことにより、効果的に学習することができている。 ○ 授業者が学習場面に合わせて i P a d を活用することによって、協働的な学習につながった。 ○ 町教育委員会からの英語指導助手への指導もあり、より子どもに寄り添った授業が展開できるようになった。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ i P a d の活用方法をさらに研究し、より効果的に使用できるようにしていく必要がある。 ○ 英語指導助手との話し合いを綿密に行い、指導方針や指導内容・方法の確認を行うことによって、ねらいに沿った授業が展開できるものと考えられる。また、中学校進学を考え、柳津小との指導方針のすり合わせも行いたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上																																				
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業の質的改善（基礎基本の定着と活用力の育成）と個に応じたきめ細かな指導 <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の手引き」の活用 ～授業の約束～ ・教師の授業力アップ ～小中連携の研究授業の実施～ ・放課後学習会、プレミアム3DAY等のテスト前学習、昼休みの個別指導 ○家庭学習の充実 ～達成感を持たせるために～ <ul style="list-style-type: none"> ・「毎やるノート」の活用 ・「学力コンテスト」毎月実施 ・メディアコントロール週間（毎月1日～7日 メディア2時間以内 家読）推進 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○柳津町学力向上推進委員会報告 「NRT数値目標53」 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書の活用 ～図書館教育の充実 朝の読書活動の推進～ ・家庭学習のやり方 ～「あかべこプラン」「家庭学習の手引き」作成～ ・小中連携授業 ～相互授業参観、中学生が小学生に学習ボランティア、絵本の読み聞かせボランティア、小6年生の中学校体験入学～ ・メディアコントロールの習慣化 ～家庭と連携し家庭学習の習慣化を図る～ <p>(3) 全国標準学力検査・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ・全国標準学力 (平均正答率) <table border="1" data-bbox="550 922 1209 1086"> <thead> <tr> <th></th> <th>本校</th> <th>県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>83.0</td> <td>78.0</td> <td>77.4</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>71.0</td> <td>72.0</td> <td>72.2</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>62.0</td> <td>63.0</td> <td>64.6</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>47.0</td> <td>47.0</td> <td>48.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国語Aで県・全国の平均を大きく上回っている。国語B、数学は全国とほぼ同程度である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県学力2年生 (平均正答率) <table border="1" data-bbox="550 1149 1024 1312"> <thead> <tr> <th></th> <th>本校</th> <th>県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>59.8</td> <td>71.7</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>43.0</td> <td>53.8</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>47.3</td> <td>54.4</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>41.3</td> <td>60.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2年生はすべての教科で県平均を下回り、改善が必要である。</p>			本校	県	全国	国語A	83.0	78.0	77.4	国語B	71.0	72.0	72.2	数学A	62.0	63.0	64.6	数学B	47.0	47.0	48.1		本校	県	国語	59.8	71.7	数学	43.0	53.8	理科	47.3	54.4	英語	41.3	60.5
		本校	県	全国																																	
国語A	83.0	78.0	77.4																																		
国語B	71.0	72.0	72.2																																		
数学A	62.0	63.0	64.6																																		
数学B	47.0	47.0	48.1																																		
	本校	県																																			
国語	59.8	71.7																																			
数学	43.0	53.8																																			
理科	47.3	54.4																																			
英語	41.3	60.5																																			
成果と評価	<p>○2年間の継続研究である現職教育の研究主題「学ぶ楽しさを味わい、わかりやすく表現できる生徒の育成」の2年次として、「やってみよう！やればできた！」を感じさせる授業の構築に努め、学習意欲を高めることができた。その結果として、両沼地区小・中学校現職教育研究物展で「準特選」を受賞した。</p> <p>○毎日の家庭学習「毎やるノート」の充実を図ることを目指して、学習内容のあり方について考える機会を作るために「毎やるノート」の展示会や100日達成賞を設定するなどしながら生徒の意欲づけに努めた。</p> <p>○小中連携による研究授業や校内授業研究により「わかる・できる授業」を目指し、教職員一人一人が意欲的にユニバーサルデザイン化に取り組むことができた。</p> <p>○学力向上に関しては、求められている学力を全国標準学力検査・県学力実態調査の内容ととらえ、指導の充実を努めた。数学での習熟度学習や5教科での学力コンテストを実施し、全学年で昨年度からの向上が見られた。2年生では入学当時より県平均を大きく下回る状況があり、今後も継続した指導の充実が必要である。</p>																																				
次年度への課題	<p>○「思考力」や「活用力」「発表力」の向上</p> <p>「自己肯定感」や「意欲」を生かしながら、実際に様々な課題を解決していける力を高めることが肝要である。そのためには、これからの教育の柱である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を取り入れていくことが必要である。基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、活用はもちろんのこと、主体的に学習に取り組む態度の育成、そして個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めることが重要である。</p> <p>○新3年生の学力向上（目標値：全教科偏差値50）</p> <p>○英語の学力向上（目標値；偏差値50）</p>																																				

基本事業	2 健やかな体の育成																																					
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導 ○各部活動の活動は計画的に行われた。また、スポ少の活動と連携して各種大会に参加し、成果を上げることができた。本校では、月曜をノー部活動として教育課程を計画した。 ○小中連携により合同保健委員会を開催し、むし歯、肥満度、メディアコントロール等について調査を行い、その結果をもとに協議し、今後の取り組みについて共通理解を図ることができた。 ○体育の時間を通して、基本的運動能力の向上や走る力を高める活動場面や機会を多く設け、成果を上げることができた。</p> <p>(2) 食育計画の作成と指導 ○食育については、栄養技師の協力により学級担任とTTを組んで授業を行ってもらった。 ○給食時に栄養技師や調理員に来校してもらい、食事の様子を見てもらったり、献立についての説明してもらった。 ○「自分で作るお弁当の日」を2日間設定し、1日目は各家庭で、2日目は家庭科と協力し、学校で弁当を作った。お弁当や食に対する興味・関心が高まった。</p> <p>(3) 全国体カテストの実施 ○平成29年度本校の体力・運動能力の状況及び平成29年度の目標値</p> <p>*男子・女子とも、全学年で県平均を下回っている。</p> <table border="1" data-bbox="261 990 1203 1122"> <thead> <tr> <th></th> <th>男子</th> <th>目標値</th> <th>県</th> <th>全国</th> <th>女子</th> <th>目標値</th> <th>県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>24.25</td> <td>(35.00)</td> <td>32.26</td> <td>34.75</td> <td>34.36</td> <td>(46.00)</td> <td>43.04</td> <td>45.13</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>38.56</td> <td>(42.00)</td> <td>41.01</td> <td>43.39</td> <td>49.80</td> <td>(51.00)</td> <td>47.42</td> <td>50.83</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>44.27</td> <td>(51.00)</td> <td>47.36</td> <td>50.99</td> <td>45.50</td> <td>(54.00)</td> <td>49.73</td> <td>54.53</td> </tr> </tbody> </table>			男子	目標値	県	全国	女子	目標値	県	全国	1年生	24.25	(35.00)	32.26	34.75	34.36	(46.00)	43.04	45.13	2年生	38.56	(42.00)	41.01	43.39	49.80	(51.00)	47.42	50.83	3年生	44.27	(51.00)	47.36	50.99	45.50	(54.00)	49.73	54.53
	男子	目標値	県	全国	女子	目標値	県	全国																														
1年生	24.25	(35.00)	32.26	34.75	34.36	(46.00)	43.04	45.13																														
2年生	38.56	(42.00)	41.01	43.39	49.80	(51.00)	47.42	50.83																														
3年生	44.27	(51.00)	47.36	50.99	45.50	(54.00)	49.73	54.53																														
成果と評価	<p>○部活動開始前や冬季の全校生トレーニングで走運動を取り入れることにより、走力がつき体力向上に努めることができた。 ○保健体育の授業を通して、準備運動で関節の可動域を拡大させたり、年間を通して筋トレ等の補強運動を行い、体力向上に努めることができた。 ○各部活動とスポ少が連携して、中体連大会、各種大会で上位入賞することができ成果を上げることができた。 ○2年生における肥満傾向がやや改善された。</p>	<p>達成度</p> <hr/> <p>B</p>																																				
次年度への課題	<p>○走力の向上が課題の一つなので、駅伝部・陸上部の練習にできるだけ多くの生徒が参加するようにし、校内駅伝競争大会も生かしながら走る力を高めていきたい。 ○肥満傾向をできるだけ改善できるように、養護教諭や栄養技師との連携を図りながら食育教育をさらに充実させていきたい。 ○部活動の持つ本来のねらいを教職員全員で共有し、勝利至上主義に陥ることなく、体力や忍耐力、協調性や自主性など、心身の健全な成長を図りたい。 ○メディアコントロール週間の取り組みについて、家庭と連携しながら実施し、メディア時間をコントロールできる生徒の育成に努めたい。</p>																																					

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導 ○道徳の時間を中心に、心をたがやし、心に力を与える指導の充実に努めた。 ○スクールカウンセラーによる心の学習や学校司書による読み聞かせなどを通して、自己理解・他者理解、人間理解の場の設定、「しなやかな心」の育成に努めた。 ○多様な体験活動を通して、「なすことによって学ぶ」特別活動を充実させ、一人一人の生徒に「自信」と「意欲」を持たせる指導に努めた。</p> <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視 ○1年生は町ボランティアの支援を受けての町内学習、2年生は尾瀬自然学習と町内・町外各事業所での職場体験学習、3年生は関西方面への修学旅行を通しての学習とそれぞれの学年が体験してきたことを校内文化祭（柳鶯祭）で発表した。 ○町行事に積極的に参加、協力することにより柳津町のよさを味わい、町民の一員であることへの自覚を持たせることに努めた。また、柳津小での読み聞かせボランティアや学習ボランティア等を通して人に喜ばれる活動の大切さを学ばせた。</p> <p>(3) 学校図書の整備と読書活動の推進 ○学校司書が中心となって、図書の整理や朝の読書活動に向けての本の紹介や意欲づけ等の指導・助言を行ってもらった。また、朝の会での全校生対象の「読み聞かせ」も月に一度ずつ実施してもらった。</p> <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見・早期対応 ○生徒指導委員会を中心に、きめ細かな情報の共有を行い、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に努めた。また、小規模校の利点を生かして、職員室内での職員同士の会話を通して、常に生徒に関するアンテナを高くしておくことに努めた。 ○スクールカウンセラーによる全校生徒面談を年2回実施し、情報の収集や悩み等を聞き、職員間で情報を共有化することで生徒理解に努めた。問題の早期解決に向けた攻めの生徒指導を行うよう努めた。</p>	
成果と評価	<p>○学校行事を中心とした様々な体験活動を通して、一人一人の生徒に「自信」と「意欲」を持たせることができた。 ○「こども議会」や「七日堂裸詣り」、「やないづ冬まつり」などの町行事に積極的に参加や協力することにより柳津町のよさを知り、町民の一員であることへの自覚を持たせることができた。 ○柳津小学校での読み聞かせボランティアや学習ボランティア等を通して人に喜ばれる活動の大切さを学ぶことができた。 ○2年生の3日間の職場体験活動は、将来の職業について考える機会とすることができ、キャリア教育の充実に努めることができた。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<p>○道徳の時間を中心に、心をたがやし、心に力を与える指導の充実 ○スクールカウンセラーによる心の学習や学校司書による読み聞かせなどを通しての自己理解・他者理解、人間理解の場の設定(I am OK! You are OK! We are OK!) ○多様な体験活動を通して、一人一人の生徒に「自信」と「意欲」を持たせる指導 ○いじめ、問題行動の早期発見・早期対応 ○「七日堂裸詣り」や「やないづ冬まつり」などの町行事に積極的に参加や協力する態度の育成</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 一人一人のニーズに応じた指導 ○生徒や保護者のニーズ、障がいによる学習上・生活上の困難さ、発達段階等を考慮しながら知・徳・体の調和を重視した教育活動を取り入れた。</p> <p>(2) 体験的・問題解決的な学習の重視 ○自分の特徴やよさを知り、学ぶことの楽しさや成就感を体得させるため、「なすことによって学ぶ」という体験的な学習を重視した。柳津町への理解を深めるため、町内を実際に歩いて調べる等、フィールドワークを多く取り入れた。また、生活体験や興味・関心をもとに課題を見つけ、自分なりの方法を選択して解決に取り組ませる指導にも配慮した。</p> <p>(3) キャリア教育の充実 ○教育活動の中で自己決定の場を多く設定し、自ら責任を持って行動できる能力を培うとともに、自己の進路や社会参加について関心を持たせ、よりよい勤労観や職業観を育てられるよう配慮した。</p> <p>(4) 交流学习・共同学習の推進 ○相互のふれあいを通じて豊かな人間性を育む交流学习と教科等のねらいを達成する共同学習を教育課程の中に位置づけ、障がいのある生徒とない生徒との相互理解の推進に努めた。</p> <p>(5) 言語活動と情報教育の充実 ○日常生活における言語の役割や機能などに関心を持たせ、多様な相手と円滑なコミュニケーションをとれるよう言語活動の充実に努めた。また、簡単な英語での挨拶についても学習させた。 ○社会の情報化の進展に伴い、将来を見据えて、生徒の障がいの状況に応じた ICT 機器の活用学習を行った。</p>	
成果と評価	<p>○教室外での体験学習を中心に、様々な課題を見つけさせ、自分なりの方法で解決に取り組ませる指導を行うことができた。</p> <p>○柳津小の「みつば学級」や他校の特別支援学級との交流学习を行ったり、音楽、美術、体育で通常学級との共同学習を実施したりしながら、教育効果を上げることができた。</p> <p>○日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然との関わりについて関心を深めながら、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育うことができた。</p> <p>○各学年それぞれ1名ずつになり、担任の負担が大きかったが、個に応じた支援を行うことができた。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○今後の特別支援学級生徒の減少に伴い、協働体験や教え合う機会が減るため、親学級や情緒学級との交流を計画的に取り入れていく必要がある。</p> <p>○3学年の修学旅行で関西方面に2泊3日で行くが、その際に特別支援学級の担任をどのように配置するか。</p> <p>○特別支援学級の備品の充実</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生きる力を育む学校教育の充実]

基本事業	5 小中学校間連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現職教育を中心とする研究授業をお互いに参観することにより、指導法について意見交換することができ、授業の質的改善に努めることができた。 ○柳津小と合同の避難訓練を実施した。中学生が小学生の手を引いて避難する光景は万が一災害が発生したときに大変有効であると思われた。 ○中学1年生が小学5年生に、中学2年生が小学6年生に算数の学習ボランティアを行った。教えることの難しさを体感しながら学習への関心度が高められた。 ○中学1年生が小学1年生に絵本の読み聞かせを行った。読み聞かせの難しさや思いやりの心、ボランティアの大切さなどを学んだ。 <p>(2) 中・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○統合に向け町教委の全面的な支援を受け、6回の交流学习を実施することができた。生徒が柳津中での生活に慣れるとともに生徒へのアンケート内容が前向きで、次年度の生活に対する不安が軽減できていることがわかった。 ○西山中と合同の修学旅行（関西方面）を実施することができた。平和学習や歴史などについて協力しながら学習することができた。柳津町のPRを計画することができた。 ○七日堂裸詣りに西山中と合同で参加することができた。また、おもてなしボランティア活動にも女子生徒が合同で参加することができ、郷土のよさを味わうことができた。 ○やないづ冬まつりの灯籠雪像づくりに西山中と合同で1・2年生が参加し、まつりを盛り上げながら郷土愛を深めることができた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中連携の参観授業は、お互いに異なった視点から授業を参観することができ、それぞれの授業の質的改善に寄与することができた。 ○学習ボランティアや読み聞かせボランティアを通して、一人一人が自分を見つめ直し、心の成長を図ることができた。 ○西山中と合同で行事に参加することで、お互いに同じ柳津町の中学生であることを自覚させることができた。さらに、町の行事に参加することにより郷土愛を深めさせることができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○柳津小との授業参観からの授業の質的改善 ○学習ボランティアや読み聞かせボランティアの質の向上 ○西山小との連携 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業</p> <p>① 活用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年で総合的な学習での調べ学習でパソコン（インターネット）を活用している。1年生では町内学習、2年生では職業調べ、尾瀬自然探索調べ、3年生では関西修学旅行等についての調べ学習で活用している。 ○美術の時間にデザイン画（着物デザイン、立体図デザイン）等にパソコンを用いて描き色づけを行うなど授業で効果的に活用している。 ○導入されたタブレットPCを効果的に活用し、昼休みや放課後等、場所を選ばず利用することができるようになったが、通常学級における授業での活用を推進していく必要がある。 <p>② 教育効果及び今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットにより調べたいことが即座に分かり、効率的な調べ学習を行うことができる。 ○生徒個人がタブレットPCをもとに発表し、全体で深めることができるよう、各教室にプロジェクターを設置する等の環境設定が必要である。 <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネイティブスピーカーとしての役割をしっかりと果たし、英語教育には効果的である。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人1台ずつノートパソコンを使用することができ、インターネットを使って効果的に調べ学習ができた。 ○一人1台タブレットPCが使用できる環境設定が整備された。 ○授業によっては、電子黒板・電子教科書などの活用が見られ、効果を上げることができた。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○電子黒板、タブレット、パソコン等を活用して、どのような授業が行えるのか研修する機会を設ける必要がある。 ○電子黒板で使用する電子教科書を各教科分購入する必要がある。今現在、国語の全学年分は購入されている。 ○西山中のPCやタブレットが増設されるので、効果的に活用したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上	
取組の状況	<p>1 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <p>(1) 授業のユニバーサルデザイン化によるわかる授業の研究 ～「どの子もわかり、できる授業」の実践を通して～</p> <p>①導入部分の工夫と見通しの工夫をする。 ②授業時間をユニットに分けパターン化する。 ③視覚的な提示によるわかりやすさの工夫をする。 ④授業に動きを取り入れる工夫をする。 ⑤安心感、達成感が得られる工夫をする。 ⑥学校全体で共有化する。</p> <p>2 家庭学習の充実</p> <p>○「学習の手引き」活用による「学び方の学び」の指導 ○家庭学習、自主学習への自主的な取り組み ・生活記録ノートの活用 ○メディアコントロール</p> <p>3 柳津町学力向上推進事業の取り組み</p> <p>○ 先進校研修視察による研修と校内での伝達</p> <p>4 柳津町教育研究会の活動</p> <p>○ 小学校交流会の開催 ○ 町教育研究会指定授業公開、全体研修会（柳津中）</p> <p>5 全国標準学力検査・県学力実態調査の実施</p> <p>○ 県学力実態調査の結果分析と補充指導 ○ 全国標準学力検査の結果分析と補充指導</p>	
成果と課題	<p>1 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <p>(1) 教科の特性に応じて指導方法、指導の手立てを工夫してきた。 (2) 授業の進め方や展開の仕方をパターン化してきた。生徒は今何をすべき時間なのかを経験的に理解することができ、年度当初に比べ、集中できる時間も長くなってきた。 (3) 電子黒板、iPad等の視聴覚機器、実物、演示などを効果的に用いて教材を提示した。 (4) 授業に動きを取り入れ、意図的に話し合い活動を設定し、言語活動の充実を図った。 (5) 小規模校の長所を存分に生かしながら研究を進めることができた。 (6) 「授業のユニバーサルデザイン化の視点」をもとに授業作りを進めることで、生徒が安心して授業に集中できる姿が見られた。</p> <p>2 柳津町学力向上推進事業の取り組み</p> <p>視察結果を校内で伝達し、情報の共有化をすることができた。</p> <p>3 柳津町教育研究会の活動</p> <p>・西山小学校の授業を参観し、指導の一貫性を図り、共通実践事項を定めることができた。 ・柳津中学校の授業を参観し、研修を深めることができた。</p> <p>4 全国標準学力検査・県学力実態調査の実施</p> <p>○ 全国標準学力検査（中3） すべての教科で全国の平均正答率を上回った。 ・結果分析を行い、各教科で補充指導を実施することができた。 ○ 県学力実態調査（中2） すべての教科で県の平均正答率を上回った。特に国語、英語が良好だった。 ・結果分析を行い、各教科で補充指導を実施した。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○ 「生きる力」を育成するための授業作りをさらに深化させていきたい。特に生徒の思考力・判断力・表現力を育成するために、毎時間の授業で生徒の言語活動を充実させたい。</p> <p>○ 授業と家庭学習の連携を図りたい。そのためにも家庭学習の仕方や内容について、教師が適切な指導を行いたい。</p>	

[生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 西山中学校)

基本事業	2 健やかな体の育成	
取組の状況	<p>1 学校保健体育・部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の授業や部活動に積極的に参加させ、運動に対する意欲や技能を向上させる。 ○ 常に健康や安全に関心を持ち、自己管理させる。 <p>2 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養技師との連携を図った食育に関する授業の実践 ○ 食育だより「もぐもぐ」の発行による啓蒙活動 ○ 「朝食摂取率 100 %週間」運動の実施 ○ 「全国学校給食週間」での取り組み <p>3 全国体力テストの実施</p>	
成果と課題	<p>1 学校保健体育・部活動の充実</p> <p>年間を通じて、バドミントン部と陸上部の両方の部活動を実施している。生徒の負担過重にならないように、配慮しながらの指導を行うことができた。両部の練習が相乗効果を上げている。</p> <p>2 食育計画の作成と指導</p> <p>「食育だより」の定期的な発行により、生徒や保護者へ必要な情報を提供することができた。また、朝食等のアンケートにより、生徒の実態を把握し、適切な指導を行うことができた。</p> <p>3 全国体力テストの実施</p> <p>3年生は男女ともに、すべての面で全国平均を超えている。1年生が男女とも、柔軟性と敏捷性に欠けており、体が硬く動きが鈍い傾向にある。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の意欲や関心を十分に考慮した部活動運営を行いたい。 ○ 1年生については、柔軟性や敏捷性の向上のための運動を授業で継続的に指導したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> (1) 道徳教育、特別活動における指導 <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進 ○ 生徒の身近な題材を使った授業作り (2) 体験的活動、ボランティア活動の重視 <ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行や校外学習の実施 ○ 自然ふれあい学習（山菜採集、写生会）の実施 ○ アントレプレナー教育の推進 (3) 学校図書を整備と読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読書の実施（年間を通して） ○ 図書だよりの発行 (4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応 <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導委員会を中心とした全校的な対応 ○ スクールカウンセラーとの連携 	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育・特別活動における指導 道徳の授業では、各学級では毎週道徳的価値について迫る授業が行われた。少人数なので、教師もともに考えながら授業を進めることができた。 ○ 体験的活動・ボランティア活動の重視 アントレプレナーシップ育成に関わるいろいろな体験活動を通して、多くのことを学ぶことができた。特に土産物開発では地域の老人との作業や関わりの機会を設けることができ、ボランティア精神や地域の一員としての自覚を持たせることができた。 ○ 学校図書を整備と読書活動の推進 司書の努力で「図書館だより」を通して、年間を通じて読書活動の啓蒙をすることができた。 ○ いじめ、問題行動等の早期発見・早期対応 4月の保護者会で、本校のいじめ対応基本計画を示し、明確に方針を打ち出して保護者にも理解と協力を求めた。幸いいじめと思われる事案もなく、楽しく学校生活を送ることができたと思われる。 	<p style="text-align: center;">達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の授業を中心に様々な体験活動を通して、心の教育を推進したい。 ○ 体験活動については、生徒に多くの困難を実感させられるような活動を多く取り組ませたい。 ○ 図書館司書を活用し、より一層読書活動を推進したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 西山中学校)

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>1 在級生徒の能力・適正を把握し、心身の発達や障がいの程度に即応する指導を行い学校生活の全領域で身辺自立の習慣や対人関係の調和を身につけ、将来望ましい社会人としての生活が営まれるよう配慮する。</p> <p>2 日常生活や将来の職業生活に活かされるよう配慮する。</p> <p>3 指導の方法や内容の配列を工夫し、生徒の実態・進歩の状況に応じ、弾力的な運営を進める。</p> <p>4 在級生徒の実態に応じ、基礎的なICT活用能力、英語能力、生活に必要な基礎学力の向上を図ると共に、家庭や地域社会とのネットワークと連携を密にし、社会を生き抜く資質、及び地域に学び、地域に育つ教育の充実が図られるよう配慮する。</p>	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流教育が特別支援学級の理解を促し、通常学級の生徒と特別支援学級の生徒相互に意義があることを認め全職員の共通理解のもと指導できた。 ○ 各行事や生徒会活動、部活動など、いろいろな機会を捉え通常学級生徒の特別支援学級生徒に対する理解を促した。 ○ 学級担任と担当者との連携を密にし、必要に応じて協議検討しながら、交流教育の円滑化を図った。 ○ 特別支援教育の考え方を通常の指導にも活かすことができた。 	<p>達成度</p> <hr/> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○ 特別支援学級在籍生徒の指導については、教師の思い込みでハードルを下げるのではなく、ハードルの高さを維持したまま、指導の工夫でその能力を高めていく考え方が大切である。指導方法の一層の工夫に努めると共に、得られた知見を学校教育活動全体に活かしていきたい。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	5 小中学校間連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現職教育を中心とする研究授業をお互いに参観することにより、指導法について意見交換することができ、授業の質的改善に努めることができた。 ○西山小と合同の避難訓練を実施した。中学生が小学生の手を引いて避難する光景は万が一災害が発生したときに大変有効であると思われた。 ○中学1、2年生が小学1年生に絵本の読み聞かせを行った。読み聞かせの難しさや思いやりの心、ボランティアの大切さなどを学んだ。 ○小中合同駅伝、合同のロードフラワー運動を行い、地域と一体となった活動を展開した。 <p>(2) 中・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○統合に向け町教委の全面的な支援を受け、6回の交流学习を実施することができた。生徒が柳津中での生活に慣れるとともに生徒へのアンケート内容が前向きで、次年度の生活に対する不安が軽減できていることがわかった。 ○柳津中と合同の修学旅行(関西方面)を実施することができた。平和学習や歴史などについて協力しながら学習することができた。柳津町のPRを計画することができた。 ○七日堂裸詣りに柳津中と合同で参加することができた。また、おもてなしボランティア活動にも女子生徒が合同で参加することができ、郷土のよさを味わうことができた。 ○やないづ冬まつりの灯籠雪像づくりに柳津中と合同で1・2年生が参加し、まつりを盛り上げながら郷土愛を深めることができた。 	
成果と課題	<p>西山小と密接な連携をとり、相互授業参観や共通実践事項を定めて、一貫した指導ができるように努めた。</p> <p>小学校と合同で、土砂災害対応避難訓練を実施した。中学生が手を引いて小学生をエスコートすることは、先の災害で必要なことと認識されたが、本年度は実際に訓練として行うことができた。西山だからこそできる避難訓練だと考える。</p> <p>合同駅伝大会では、地域の方の応援や保護者の方のご協力で、盛大に実施できた。小中合同の枠を超え、保護者や地域の方にも西山の子どもたちのすばらしさを実感させるものであった。</p> <p>1年間を通して、小学校の先生方と協議をしたり、行事等をともにできたことは、西山の子どもたちの9年間の成長のために、各年代でどのようなことをすべきか考える良い機会であった。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業時数の確保のために、小中連携の行事の内容や実施時期、回数などについて、吟味や検討を行いたい。 ○ 9年間の西山の子どもたちの成長を考えた系統性のある小中連携を模索したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業</p> <p>① 活用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年で総合的な学習での調べ学習でタブレットパソコン（インターネット）を一人1台の環境で活用している。 ○数学、英語では、電子黒板を積極的に利用し効果を上げている。 ○美術の時間にデザイン画（着物デザイン、立体図デザイン）等にパソコンを用いて描き色づけを行うなど授業で効果的に活用している。 <p>② 教育効果及び今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットにより調べたいことを主体性をもって調べることができる。学習の個別化・個性化が実現できている。 <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ALTが子どもたちの指導に大変熱心で成果を上げている。特に、発音の指導にはこだわりがあり、日本人教師にはできない指導が行われている。 	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人1台ずつノートパソコンを使用することができ、インターネットを使って効果的に調べ学習ができている。 ○ 一人1台タブレットPCが使用できる環境設定が整備され、指導の幅が広がった。ただ、ネットワーク環境が不十分で、一斉に活用すると十分に動かないことがある。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板、タブレット、パソコン等を活用して、どのような授業が行えるのか研修する機会を設ける必要がある。 ○ ネットワーク環境については十分な速度を確保する必要がある。タブレットパソコンは、全校生が一人1台同時に使用しても活用できるような環境があって初めて日常的な活用が図られるし、一層の効果も期待できる。速度の確保が大きな課題である。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実]

基 本 事 業		7 教育環境・条件の整備充実
取 組 状 況	<p>(1) 統合中学校開校準備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育施設環境等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・校名、校章、校歌整備 ・運動着全校生徒分整備 ・部活動、陸上用ユニフォーム等整備 ・統合中学校校舎・体育館改修工事 ・スクール専用バス整備（2台） <p>(2) 学校施設等改修整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西山中学校プール改修工事 ○学校給食センター建設工事 <p>(3) 教材教具整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校共通教材等更新整備 ○小中学校共通図書室図書購入 ○I C T 機器ipad購入整備（柳津小学校） ○I C T 授業クラウド型支援システムスクールタクト整備（西山小学校） ○I C T 授業クラウド型支援システムスクールタクト整備（柳津中学校） <p>(4) 就学援助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準要保護児童就学援助 5名（小学校3名・中学校2名） ○特別支援児童就学援助 7名（小学校3名・中学校4名） <p>(5) 児童生徒通学費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遠距離通学児童生徒に対するバス定期券購入費助成 <p>(6) 高校生奨学金貸与事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貸付実績なし <p>(7) 教職員福利厚生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員成人病検診、人間ドックの実施 <p>(8) 教員住宅管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員への住宅貸付、住宅管理（教員住宅8戸） <p>(9) スクールバス運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スクールバス運行委託 柳津5路線、西山3路線 <p>(10) 特別支援教員等の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○柳津小学校特別支援員1名配置 ○柳津中学校特別支援員1名配置 ○西山小学校に常勤講師2名配置 <p>(11) 学校図書司書の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校図書司書2名配置 <p>(12) 学校用務員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校用務員各校1名（計4名） <p>(13) 給食費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給食費半額の補助 	
	成 果 と 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校の統合に向けた施設環境整備・学校施設等改修整備事業等、略計画どおり進捗し、整備竣工した。 ○教材教具整備事業では、計画どおり整備竣工した。 ○図書司書の配置により読書活動の推進が図られている。 ○用務員の配置により、主に学校施設環境等の維持が図られている。 ○給食費半額補助により、子そだて支援の充実が図られ、保護者の負担軽減につながっている。
次 年 度 へ の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、プログラミング授業が導入されることもあることから、引き続きI C T整備については整備していく必要がある。 ○柳津小学校校庭、会津柳津学園中学校前庭については、非常に水はけが悪いなど教育課程に影響が大きいことから改修する必要があり改修する必要がある。（平成30年度実施） ○各校共、老朽化等による小規模な施設改修を行っていく中、現代の学校環境のニーズにより各校の共通の施設改修としてトイレの洋式化を実施する。 ○その他、継続的事業については、平成30年度も引き続き実施していく。 	

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	1 郷土を愛する心の育成	
取組の状況	<p>(1) 児童生徒の地域行事への参加促進 ○小中学生が参加できる町行事について、町校長会を通して周知し、参加奨励を実施。</p> <p>(2) 青少年の主張発表大会の開催 ○大会開催：発表者10名・町内小中学児童、生徒（小学3年生以上）の参加 ○文集「わたしの主張」を作成し全戸配付。 ○町青少年育成町民会議健全育成部会において計画立案</p> <p>(3) 青少年育成町民会議運営事業 ○4部会(健全育成・非行防止・環境浄化・広報)で構成 ○各部会において年間活動計画の立案</p> <p>(4) 成人式の開催 ○対象：町内出身者男性18名、女性17名、合計35名（うち30名出席） ○会場：ふれあい館8月15日(火) ○内容：式典、講演会 「私を育ててくれた福島に、いま、私ができること」 講師：嶋川武秀氏（母心・オカン）</p> <p>(5) 中学生海外派遣事業「ふれあいの翼」 ○実行委員会の開催2回作成 ○開催日、研修地の決定</p>	
成果と評価	<p>○小中学校4校の児童生徒10名による主張発表が行われ、日常生活や家庭など身近なものを取り上げた主張や、学校生活や友達について主張した生徒もあり、広聴者にとっても興味深い発表会となった。全校生（小3以上）が参加し発表を聞き、より充実した発表会となった。</p> <p>○青少年育成町民会議の各部会の活動にはそれぞれの部員が積極的に参加し、柳津町の青少年健全育成に努めている。</p> <p>○お盆の成人式は対象者の参加率も高く、記念講演では軽妙な語り口と笑いの中にポジティブに生きることの大切さが伝えられた。</p> <p>○海外派遣事業は、次年度に向けて開催日を7月30日～8月3日、研修地をシンガポールと決定。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○町行事等に小中学生が参加しやすい環境を作り、郷土を愛し誇りが持てるための学習機会の定着に向け情報提供や参加への働きかけを継続する。</p> <p>○青少年育成機関である町民会議を最大に活かすことができる方策を考慮しながら事業を実施していく。</p> <p>○柳津町の出身者であることを再確認し、故郷愛を育むことのできる成人式としたい。</p> <p>○海外派遣は、家庭の負担、子ども達への公平性の観点から修学旅行の一環で取り組む方向で進めて行く。</p>	

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	2 家庭教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 家庭教育講座の開催</p> <p>○就学時子育て講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年9月15日(柳津小) <li style="padding-left: 2em;">平成29年9月13日(西山小) ・講師：喜多方市家庭教育支援チーム「もも」 代表 幸田久美子 氏 ・対象者：就学児童の保護者 ・参加人数：柳津小18名、西山小3名 	
成果と評価	<p>○就学時検診に併せて、就学児童を持つ保護者の子育てについて、講師を招き講演会を開催した。</p> <p>保護者同士の交流の場、情報交換の場にもなっている。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<p>○就学児童の保護者のみを対象とした内容であるため、さらに広い範囲に家庭教育の充実を呼びかけられる事業に発展させたい。</p>	

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	3 学校教育と社会教育の連携・融合	
取組の状況	<p>(1) 子どもチャレンジ事業</p> <p>① ジュニアサマーキャンプの実施 (場所・ふれあい館)</p> <p>○8月3日、4日に1泊2日の日程で小学校5年生、6年生を対象に募集をかけたところ、15名の参加があり、ふれあい館を中心に、キャンプ体験、手掘り温泉、川遊び、カヌー体験等を実施した。</p> <p>(2) スポーツ少年団活動</p> <p>○11種目・団員130名・指導者36名</p> <p>○対象：町内小学校1年生～中学生まで</p> <p>○活動日及び時間は各活動種目により決定</p> <p>○活動場所は運動公園グラウンド、海洋センター体育館、柳津・西山小中体育館 B&G艇庫、町営テニスコート、その他</p>	
成果と評価	<p>○ふれあい館の芝生にテントを張り、調理室で食事を作るという半野外体験ではあったが参加した児童は、日頃経験できない2日間を友人と過ごせたものとする。</p> <p>○ジュニアサマーキャンプは何より子ども達の参加を得ることが第一であることから、より参加したくなる内容のキャンプとなるよう工夫していく必要がある。</p> <p>○スポ少は年々子どもの数が減少していく中で現状維持が困難な状況となっている。特に中学校の野球部が部員数が不足大会に今後参加できない見通しである。</p> <p>○柳津町スポーツ少年団活動は熱心な指導者や学校との連携により、毎年素晴らしい成績をあげている。青少年の健全育成とスポーツ振興の町にふさわしい活躍が見られているため、継続していけるように引き続き支援するべき。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○従来、小学5,6年生の夏休みにはジュニアサマーキャンプに参加する習慣があったが、近年は価値観が変わってきたと思われる。継続のためには子どもの意向を聞いたり、学校や家庭の協力を得ることが必要となってきた。</p> <p>○体験学習では、子どもの意向を把握し、より興味を引くような内容の事業を企画していきたい。</p> <p>○小中学生の減少により団員の確保が難しい種目もある。又、低学年(1、2年生)からの活動も懸念される。勝利だけを目指すのではなく礼儀やマナーの指導にも重点を置き、保護者の理解と協力を得ながら学校と連携し青少年の健全育成に努めていきたい。</p>	

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	4 子どもの居場所づくりと環境整備	
取組の状況	<p>(1) 放課後子ども教室推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○柳津小学校区「ジャンプやないづ」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・週2回（月、水）年80回 ・登録人数38名、スタッフ7名 ○西山小学校区「杉の子サークル」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回（木）年36回 ・登録人数26名、スタッフ3名 <p>○平成29年度は、美術館と連携した美術教室や、福島子ども芸術計画（アートで広げる子ども未来プロジェクト）の事業とコラボした特別教室を開催し、例年になく多彩な内容となり、教室の開催数も増えている。</p>	
成果と評価	<p>○放課後子ども教室は少子化により、家に帰っても遊ぶ友達がいない・・・そんな子ども達が放課後子ども教室で、子ども同士のつながりだけでなく地域の方々とふれあい、学校や家庭とは違う時間を過ごす中で、子ども達は豊かな心を育成し、地域の方が子ども達を見守る気持ちから、安全面においても大きな役割を果たしている。</p> <p>また、子どもにとって地域の人との関わりが持てる場所として貴重である。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<p>○共稼ぎ家庭が増える中で、さまざまな事情を持つ家庭に対応していく必要が生じてきている。また、通年において活動指導員や安全指導員の確保が課題となっている。放課後子ども教室が地域と一体となった子育てを実践する教室であることを、町民にアピールし新たな協力者を得ていくことが必要である。</p>	

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	5 見守りボランティアの活用	
取組の状況	<p>(1) 見守りボランティア会議の開催</p> <p>○見守りボランティア会議を柳津小学校、西山小学校と学校単位で開催 それぞれの学校で第1回目の会議の席上、会員の皆さんへ委嘱状を交付し、柳津町こども見守りボランティアとして活動内容について確認し、情報交換を行った。</p> <p>(2) 見守りボランティア活動支援</p> <p>○会員の見直し及び名簿作成</p> <p>○下校時刻ハザードマップ等の情報提供</p> <p>○会員を学校を通じ子供たちへ紹介。 など会員の活動意欲を高めてもらえるよう支援を行った。</p>	
成果と評価	<p>○柳津小学校と西山小学校で会議を行い、児童の様子などのついでの情報交換を行った。</p> <p>学校とボランティア双方で確認しあうことで実態を正確にとらえ、安全のためのきめ細かな対応ができた。</p> <p>○学校からの下校時刻等の情報提供でボランティアの活動が効果的に実施できた。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○防犯協会と防犯ボランティア、そして見守り活動の位置づけを明確にするため、役場総務課、教育委員会そしてボランティアで協議を進めてきた。次年度はより継続的に活動が実施できるよう設立総会を開催する必要がある。</p> <p>○防犯ボランティアの見守り活動についての広報を工夫し、次の活動に参加していただける方をより多く募っていく必要がある。</p>	

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	1 生涯学習推進体制の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 社会教育委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委員7名年2回の開催(6月・3月) ・年間事業の状況検討、計画等、生涯学習に関する全ての協議機関 ・スポーツ振興審議会も兼務する。 <p>(2) 各機関団体連絡協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内機関団体34団体年2回の開催(6月・1月) ・年間行事調整、イベント等の説明 ・生涯学習カレンダー及び門松(紙)の印刷、全戸配布 <p>(3) 柳津婦人会運営補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間活動事業への支援と助言 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員会において生涯学習全般を審議しているが、生涯学習は範囲も広く大変重要な分野であるため、今後も学識経験とそれぞれの専門分野から適切な指導をお願いしていきたい。 ○各機関の団体長が一同に集まる連絡協議会は大変意義深いものであるため、年2回の会議は今後も継続し、各団体間の情報共有を図っていく。 ○婦人会活動は自主活動が定着し、各種イベントへの参加や協力が多く見られる。 	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員会は重要な審議機関であるため、十分な審議がなされるよう生涯学習に係る説明を明確にし、各委員の意見を確認しながら事業を進めていく。 ○各機関団体連絡協議会は、唯一の団体間の連絡機関として、互いに情報共有しながら、より有意義な活動ができる環境づくりの一助とする。 ○柳津婦人会は年々会員が減少しているが、事業は減っていない現状にある。今後は、各地区の事情を考慮しながら、婦人会としての在り方を検討する必要がある。 	

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	2 多様なニーズに応える学習機会の充実	
取組の状況	<p>(1) 高齢者学級「福寿学園」「養寿学園」の開催 ○月1回の開催・受講生福寿33名、養寿42名。 ○講演会、奉仕活動、現地研修会、楽器の演奏鑑賞、工芸、映画鑑賞等。</p> <p>(2) 成人学級「悠友倶楽部」の開催 ○月1回の開催・受講生36名 ○折り紙教室、人形展見学、夏野菜料理教室、パン作り、写仏、活花、現地研修など</p> <p>(3) 伝統工芸教室の開催 ○しめ縄・ほうきづくり教室12月15日・16日 受講生21名 講師4名 ○またたび細工教室2月21日～24日・受講生15名 講師4名</p> <p>(4) 料理教室の開催 ○管理栄養士を講師に月1回、第一水曜日に開催。受講生16名 ○季節のメニューや郷土料理、デザート料理等実習。 ○年度末に年間のレシピ本を作成し受講生に配布。</p>	
成果と評価	<p>○高齢者学級を通し、触れ合いと学習の場を持つことにより様々な情報の共有と、健康・教養等への関心が高まり意識の向上に繋がり有意義な学習となっている。</p> <p>○悠友倶楽部は年齢制限を無くしたためか、参加者が大幅に増加した。取組内容も会員が満足する教室であった。</p> <p>○伝統工芸教室に町民の方を講師に招き開催し、丁寧な指導で好評であった。また県外からのリピーターや町外からの参加者も多くみられ、例年通りの成果であった。</p> <p>○料理教室は会員が4名増加し、季節に合わせて旬の食材を活用し、また栄養面を考慮したメニュー構成となっているため生徒から好評を得ている。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○高齢者学級は高齢化が進む中、身体の原因などから年々参加者の減少が目立つ。参加者減少に歯止めをかけるため既存の学級生のニーズを検証し、より魅力ある学習内容を取り入れて新規参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>○中央婦人学級は長年にわたり教室を開催しているため、教室内容のマンネリ化が懸念される。時代のニーズをつかみながら運営していく必要がある。</p> <p>○料理教室は毎年15名前後の受講生である。少数ではあるが新規加入者もあり、今後は、男性を含めて更に多くの新規加入者を得るため町民への周知に力を入れる。</p>	

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	3 生涯学習施設・設備の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 活性化施設「ふれあい館」管理運営事業</p> <p>○地域住民の活動の拠点として、利用しやすい施設づくりに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日は午前8時30分～午後9時まで開館 ・土、日、祝日は午前8時30分～午後5時まで開館（夜間は予約制）各種学級、講座、文化団体、学校・PTA、体育関係、役場の会議、趣味のサークル、トータルスポーツ、一般会議・研修等への貸出。 <p>(2) 図書館整備事業</p> <p>○町広報誌による新刊図書の紹介や図書室のスペースを利用して、わかりやすい図書の紹介をして、関心を集めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入予算年約308千円購入冊数199冊 年間図書貸出数 1,653冊（うち団体貸出130冊） <p>(3) 地区集会所施設の整備補助事業</p> <p>○町内9地区集会所の改修、修繕等の助成事業を実施し、地域コミュニティの拠点づくりと環境整備等に支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費9,357,828円×80%（補助率上限300万）=7,483,000円 	
成果と評価	<p>○各種教室やクラブ活動、サークル活動に有効に活用していただけるよう利用促進を図っている。放課後の児童生徒の利用に際しては公共の場でのマナーを指導しつつ放課後児童の場として提供している。</p> <p>○図書システムの導入によりスムーズな運営が出来ている</p> <p>また、読み聞かせボランティアによる小学校への読みきかせや、中学校との連携により魅力的な図書館づくりを目指し、利用促進を図っている。</p> <p>○各地区集会所の整備はコミュニティづくりに大きな役割を果たしている。</p>	達成度 A
次年度課題	<p>○ふれあい館は大変きれいで使いやすいとの声が多く、利用者及び団体が増加している。今後も維持管理に努めていきたい。</p> <p>○ふれあい館は公共の場であり、学校や家庭とは違うことを小中学生に良く認識させたい。（利用マナー・挨拶・飲食等の指導）</p> <p>○児童図書や最新版の図書も定期的に購入し整備している。内容説明（ポップ）も分かりやすく表記されており借り易くなっている。</p> <p>○集会所の新築を希望する地区より改修や修繕を希望する地区が多くなってきており、それぞれの地区の事情を考慮しながら補助事業の有効活用を進めたい。</p>	

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業	1 生涯スポーツの意識啓発とスポーツ活動の充実	
取組の状況	<p>(1) 各種町民スポーツ大会等の開催</p> <p>○社会体育事業（スポーツ大会等）の反省も常に行い、大きなトラブルもなく町が主催する事業について実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯谷山（190名）・博士山（280名）開きの開催 ・霊まつり少年ソフトボール大会（20チーム） ・町民ソフトボール大会（16チーム） ・町民運動会柳津（500名） 西山地区（500名） ・やないづタウンマラソンリレー大会（10部門・41名） ・町民バレーボール大会（24チーム） ・西山地区ソフトバレーボール大会（8チーム24名） ・カローリング教室 23名 <p>(2) 県総体県民スポーツ大会への参加</p> <p>○県民スポーツ両沼大会には、6競技参加した。 会津大会は柳津町で開催され2競技に参加した。</p> <p>(3) ふくしま駅伝競走大会への参加</p> <p>○第29回市町村対抗福島県縦断駅伝大会に出場し健闘を見せた（全長95.1km） 総合成績 全52チーム中49位、町の部成績 全29チーム中26位 5時間58分23秒</p> <p>(4) 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への参加</p> <p>○町野球連盟を中心に柳津町チームが出場し、3回戦まで勝ち進んだ。 ○ソフトボールは惜しくも1回戦で敗退した。</p> <p>(5) 町体育協会運営事業</p> <p>○12の加盟団体で構成し、スポーツを通じて町民の体力向上のため、各種競技団体で工夫し実施している。</p> <p>(6) スポーツ推進委員会の開催と活動</p> <p>○月1回の定例会の開催と生涯スポーツの指導から立案と反省、両沼並びに県の研修会への参加、各種スポーツ教室の指導。 委員数12名</p>	
成果と評価	<p>○第70回を迎えた県民スポーツ大会は町民のスポーツの振興と健康の増進に貢献するとともに、近隣町村との交流のためにも有効な大会となっている。</p> <p>○ふくしま駅伝は若い選手層ながら中高校生の活躍もあり、競技力が向上している。更に指導者や家族、地域の方々のご支援により青少年の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>○野球経験者が中心となり、練習や大会に臨んでおり年々成果を上げている。仕事との両立を図りながら町代表として誇りを持つとともに、青少年の模範となるよう益々活躍して頂きたい。</p> <p>○体育協会及びスポーツ推進員の活動により、町スポーツの振興と健康づくりに大きく貢献している。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>

○町内におけるスポーツイベントを開催するにあたっては、西山地区民の参加が少ない状況から、地区対抗にこだわらず多様な競技を検討し広い世代が参加しやすい内容にしたい。

スポーツと健康の関わり等競技思考から体験型スポーツ教室等の開催も検討し、総合型地域スポーツクラブや町民課との連携を図りながら健康づくりを支援していきたい。

○県民スポーツ大会は競技人口の減少と競技者の高年齢化が目立ち、参加が難しい種目も出ている為、各クラブの育成や会員の確保が今後の課題である。

○長距離競技は小学生の早い段階から正しい指導と親しみを持って接する事が大事であり、中・高校生選手の育成が必要となっている。

○市町村対抗軟式野球大会への参加について野球経験者の確保や練習時間の工夫によりチームワークを図り、好成績を残せる様に支援していきたい。

○地域性や競技種目を考慮した人材の確保と共に生涯スポーツの企画、立案者としての自覚と責任を持ち町民の健康維持に携わる必要がある。

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基 本 事 業	2 総合型地域スポーツクラブの充実	
取組の状況	<p>(1) 赤べこトータルスポーツの活動支援</p> <p>○定期活動による教室15教室、時期ごとの教室6教室(スポ少除く)、委託教室1教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局を海洋センター体育館事務室に置き、クラブマネージャーが事務を行っている。 ・運動公園体育施設及び学校施設、ふれあい館などで年間を通して活動している。 ・町の委託事業として「楽関スクール」を実施した。 <p>(2) 赤べこトータルスポーツの運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブが独自に指導者の養成を行い指導にあたる。 ・各種専門指導員を講師に招き指導にあたる。 ・町体育協会会員等の協力により指導にあたる。 ・一般経験者による指導。 	
成果と評価	<p>○種目により活動にばらつきがある様だが、固定した会員で継続して活動している。</p> <p>外部での大会や教室等に積極的に参加している。</p> <p>○住民の体力増進や青少年の健全育成など貢献度は大きい。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○年々会員数が減少している状況にあり、運営に支障をきたすことが懸念される。</p> <p>会員の拡大へ向け事業の推進を目指していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・指導者の養成 ・活動種目及びイベント種目の企画立案 ・運営委員会の充実 	

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業	3 スポーツ施設・設備の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 運動公園施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育館は昭和54年に建設され、今年度で38年目を迎えたが、2年前に玄関及びトイレの様式化、シャワールームの改修等を行い、より清潔なスポーツ施設として活用されている。平成29年度利用者数 9,339人(町民8,361人、町外978人) ○武道館は昭和55年に建設され、2年前に屋根の修繕を実施した。 平成29年度利用者数 1,333人(町民1,018人、町外315人) ○プールは昭和56年に建設され、玄関部分屋根の老朽化、またプール内部の塗装剥離などによる修繕が必要となっている。 平成29年度利用者数 2,398人 ○艇庫は体育館と同じ年度に建設、艇庫前のグレーチングが破損し車の往来時に跳ね上がる場合があったため補修した。 ○テニスコートは町外の団体や、長期合宿で利用することが多く、常に予約でいっぱい の状況である。平成29年度利用者数 5,388人(町民2,701人、町外2,687人) ○グラウンドは昭和57年に整備された後、平成25年度は野球内野部の整備、昭和61年 にナイター照明の設置、平成27年度にソフトボール側の照明設備の改修(LED化) 平成28年度にソフトボール側の土入替を行い、さらに使いやすいグラウンドとなった。 平成29年度利用者数 6,837人(町民4,639人、2,198人) ○運動公園施設の年間利用者合計 25,471人(町民18,872人、町外6,599人) <p>(2) B & G 指導者育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度 受講者無し 	
	成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○B & G 関係施設は各種大会や教室、スポ少、部活動、スポーツ合宿等利用が多く、地域住民の健康と青少年の健全育成の場として高く評価できる。また、震災後は町内宿泊施設利用者に対する施設無料措置を継続し、夏場にスポーツ合宿招致をはじめ、町内への誘客促進に寄与している。 ○町営施設はB & G 施設同様に近隣市町村の利用も多く、優れた選手の育成や指導者の養成など施設の役割は大きい。
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も改修を行いながら、利便性と安全性を考慮した施設管理、運営を行っていく。 ○B & G 財団インストラクター養成研修に参加し、より安全な施設として有効活用する。 ○公共スポーツ施設使用時のマナーを指導し、青少年教育を推進する。 	

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	1 町民の文化活動の充実	
取組の状況	<p>(1) 文化協会、各種文化団体の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○加盟15団体による、年次計画によりそれぞれが実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・会津西部演芸大会を柳津町(会場/町民センター)で実施(12月13日) ・現地研修会(会津管内/諸橋近代美術館・磐梯山噴火記念館等) ・越後と会津を語る会会津大会(場所/湯川村体育館)の参加 ・冬まつり参加協力 <p>(2) 柳津町文化祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 : 11月3日 ・文化作品の展示 ・各団体、小中学生、放課後子ども教室の作品展示 ・町内小中学生の作品展示 ・柳津史談会講演会、お茶会の開催 	
成果と評価	<p>○文化協会活動には協会加盟団体が積極的に参加し、柳津町の文化活動を盛り上げた。各団体が技術の向上のため、頻繁に活動している様子が伺える。</p> <p>○文化祭には多くの来場者が訪れ、日頃の活動の成果を広く知っていただく事ができた。</p> <p>○放課後子ども教室での作品展示・販売を行い有意義な体験教室となった。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<p>○各クラブとも会員の高齢化により、年々各種事業への参加者が減少している。今後は、文化活動を絶やさないようにするため若い人の新規加入を斡旋していく必要がある。</p> <p>○文化祭については、一般公募作品の出展が少ないため、今後は広く広報活動を行い、より多くの町長が気軽に出品できるよう、参加型イベントにしていく必要がある。</p>	

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	2 地域の伝統文化の継承	
取組の状況	<p>(1)地域伝統文化団体の育成と支援</p> <p>○冬まつりにおいては提灯行列や、鳥追いを実演し伝統文化の継承に努めた。</p> <p>○各種学級で、芸能を披露していただきながら継承に寄与した。</p>	
成果と評価	<p>○町内外から多数の人が観覧する中で、見る人は伝統文化を身近に感じ、やる人は伝統芸能を継承することの意義が再確認できたものとする。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○伝統芸能を実演する機会を増やし、観覧者への周知とともに芸能者のやりがいと誇りを鼓舞していくことが大事。</p>	

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	3 やないづ町立斎藤清美術館の充実	
取組の状況	<p>(1) 斎藤清展事業 ○企画展の実施(年4回・3ヶ月毎に展示替え) ○特別企画展「ムンク×斎藤清」展 (29年10月7日～29日、23日間で9,478名来場)</p> <p>(2) 県外斎藤清展推進事業 ○相生美術館(徳島県、5月)での斎藤清展開催 ○渋谷ヒカリエ(東京)「ムンク展×斎藤清」告知展(9月)を開催。 多様な世代を中心に顧客開拓を促進。 ○オリジナルグッズの館外販売(東京都美術館ほか)</p> <p>(3) アート・コミュニケーション、ミュージアム・アメニティ事業 作家の美術館滞在による作品制作(松井千夏・29年9月4～17日)、 公開、地域住民が気軽に参加できる講演会・コンサート(10月7日)、 ミュージアムパーティー&ノルウェー大使館との共同事業によるサーモン・ フェス(8月10日、10月15日)開催。 筑波大学との相互協定の締結(29年12月7日)。</p> <p>(4) 作品購入等事業 ○アメリカ在住のコレクターとの折衝により未収蔵作品を中心に10点の 斎藤作品の寄贈受け入れ。ほか作品購入1点。</p>	
成果と評価	<p>○入館者数 24,150 人 (H28 年度 15,721 人、53.3%増) 特別企画展「ムンク×斎藤清」展の効果が顕著に表れたほか、 年間を通じて前年比を上回り、運営改善の成果が表われている。 ○収入額 35,289 千円 (H27 年度 28,144 千円、比較 25.4%増) 入館料及びグッズ販売収入が共に増加。歳入を歳出(経常経費)で 割って算出する収益率は国内美術館上位レベルを維持。 ○効果的なプロモーションでは、国内外の美術館との連携と拡大、 外部キュレーターとの交流を通じた館内展示の底上げが急務。 ○来館者アンケートでは、館内でのカフェやコンサート、企画展の 内容や展示方法について高評価。 ○中長期的な集客に向けたブランディングの再構築や美術館の 多様な価値発揮、大学や地域教育と連携した館運営の推進が必要。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<p>(1) ブランディング再構築と強化継続 ○斎藤清ブランドの再構築と発信に向けた調査 ○連動的・重層的広告の実施(HP、facebook、YouTubeのコンテンツ拡充) ○県外での展覧会の実施に向けた交渉(都内、海外)</p> <p>(2) 学芸技術の底上げと展示の抜本的改善、斎藤清アーカイブの早急な実施 ○作品の収蔵・研究・展示という美術館の基本サイクルの徹底。 ○国内外美術館や外部キュレーターとの交流・連携の強化。</p>	

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	4 文化財の保存と活用	
取組の状況	<p>(1) 柳津町文化財保護審議会の開催 ○文化財保護審議会の開催 (年2回)</p> <p>(2) 町指定文化財管理事業 ○町指定文化財 {14件 (県指定2件含む) 管理委託} ○国重文1件・国指定天然記念物1件・県指定4件(町指定2件含む) 計 18件 ○国重要文化財奥之院弁天堂の屋根雪降ろしのための補助</p> <p>(3) 天然記念物カモシカ処理事業 ○天然記念物であるカモシカの滅失処理。2件 (1地区)</p> <p>(4) 文化財火災防御訓練の実施 ○奥之院弁天堂、圓藏寺周辺での防御訓練 (1月27日) ○参加機関：広域消防柳津出張所、町消防団、奥之院、奥之院総代、圓藏寺、圓藏寺総代、圓藏寺自衛消防隊、文化財保護審議委員、町教育委員会</p>	
成果と評価	<p>○町文化財保護審議会は、例年2回の会議を開催し国指定天然記念物うぐいの生息状況や、久保田三十三観音、軽井沢銀山煙突保存等について協議した。</p> <p>○町指定文化財の多くは個人所有又は地区が管理しているため、保管状況は概ね良好と思われる。</p> <p>○天然記念物であるカモシカが死亡していた場合は埋葬し、滅失届を文化庁へ報告している。</p> <p>○文化財火災防御訓練により、伝統的建造物の保存や継承、更に防火体制の確立と意識の高揚が図られている。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○縄文館に展示している石生前遺跡出土品の有効活用</p> <p>○今後も、個人所有文化財並びに地区管理文化財の保存状態等の確認調査の実施。</p> <p>○本年度の調査結果を受け軽井沢銀山煙突の保存について、今後文化財保護審議会を中心に協議決定していく</p> <p>○文化財防御訓練は、今後も関係機関との連携を図り、文化財保護活動に努めていく。</p>	

IV 点検・評価に関する有識者の意見

IV 点検・評価に関する有識者の意見

1 点検・評価に関する有識者名簿

学識経験者の知見の活用については、以下の方を「点検・評価に関する有識者」に選任し、有識者の意見を頂きました。

佐藤 長八	柳津町文化協会長
二瓶 伸博	柳津町体育協会長
金子 セツ子	柳津町人権擁護委員代表
岩佐 節子	柳津町主任児童委員
小林 幸子	柳津町主任児童委員
鈴木 礼	柳津小学校PTA会長
小林 浩	西山小学校PTA会長
長谷川 宣夫	会津柳津学園中学校PTA会長

2 点検・評価に関する有識者の意見

(1) 教育委員会の活動状況についての意見

- ・統合中学校開校に関する多くの議題があったかと思われるが、概ね整理が行われ無事開校につながったと思われる。即断即決の擬態は少なかったと思われるが、開校2ヶ月前の時点で協議中との返答の内容が複数あり、保護者としては心配があった。
- ・中学校統合による西山地区の学校活動人員が減となり、賛助会員の設置等で賄っている。人的、もしくは設備的な補助が必要と思われる。
- ・学校教育から生涯学習までの幅広い範囲での事業活動、誠に感謝致します。学校教育におかれましては各校「知・徳・体」において、児童生徒に対し深い愛情を注いで頂いている思いが伝わってきます。統合中学校開校等、歴史的な変化を求められている中での活動に期待致します。
- ・毎月行われる定例会、29年度は統合中学校開校準備等もあり、様々な面で大変だったと思います。また、行事等(多いときで月5回)の参加も大変だと思いますが、職務のため致し方ないです。状況等を把握する為には必要不可欠だと思います。

- ・日頃より、多岐にわたっての職務に対し、深く感謝申し上げます。また、会津柳津学園中学校の開校に際しましては、長年にわたり御心労は大変なものであったろうと思います。本当に感謝致します。これからも、子どもたちのためによりしくお願いいたします。

(2) 教育委員会重点施策の点検・評価についての意見

- ・全般的に実状に沿った評価がされていると思われる。
- ・学校教育に関しては、ICTの導入等に予算・時間ともに割合を高めている事は現在の社会状況に合わせており大変良いと思われる。やないづ教育ネットの更なる積極的な利用・発信も期待したい。一方で、社会に参加するようになった際にも必要な基礎的な「読み・書き・計算」は小学校低学年から重要に思われる。朝の小テストを毎日行ったり、現在は指導が無い漢字の書き順も、漢字の習得・きれいな文字を書く為にも必要な部分が有るかと思います。デジタルで文書を作成しても変換の正誤が判断できない、英単語の習得もデジタルでの繰り返しより辞書の反復検索で定着が図られる等、アナログの良さも同時に発信して頂きたいと考えます。
- ・各施策ともに激しい目線で評価して頂き次年度への活躍を期待致します。
- ・特別支援教育においては個々のニーズを大切に指導して頂き感謝します。
- ・いじめ問題の早期発見、早期対応でいじめ防止対策に取り組んで頂き良い結果に繋がったと思います。
- ・B&G職員の労働体制に問題は無いのでしょうか？
- ・本来であれば家庭においてしつけなければならない基本的な活動習慣の「躾」が出来ない家庭が増えているように思われます。筋違いとは思いますが学校教育で一翼を担って頂きたいと思います。
- ・各小中学校、多様な取り組みを行い、とても一生懸命に行っていると思えました。分かりやすい点検・評価だと思えました。
- ・各事業の達成度もほとんどAランクになっており安心しております。

《資 料》

平成29年度 柳津町教育委員会の点検・評価の概要

柳津町教育委員会は、要綱に基づき、平成29年度の教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について、次のとおり点検・評価を行います。

(1) 点検・評価の対象（項目）

「柳津町教育委員会の活動状況」及び「柳津町教育委員会の重点施策」

① 柳津町教育委員会の活動状況

柳津町教育委員会の開催及び審議状況、教育委員の主な活動、教育委員会の情報発信等

② 柳津町教育委員会の重点施策

平成29年度柳津町教育委員会重点施策について、「取組の状況」「成果と評価」「次年度への課題」の視点から、それぞれ点検・評価を実施する。

※「達成度」については、重点施策ごとに、A（十分に達成）、B（ほぼ達成）、C（やや不十分）、D（不十分）の4段階で評定

(2) 学識経験者の知見の活用

柳津町小中学校保護者を含む教育関係者等、教育に関し知見を有する方から、柳津町教育委員会の内部評価について、個々人から意見をいただく。

※平成28年度の点検評価学識経験者

・町文化協会長・体育協会長・人権擁護委員代表・主任児童委員代表・町内各小中学校PTA会長

(3) 点検・評価の経緯

柳津町教育委員会では、次の手順で点検・評価を実施する

① 各学校での内部評価（3月）

○重点施策「生きる力を育む学校教育の充実」を中心に

② 教育委員会の内部評価（4月～6月）

○教育委員会の活動状況のまとめと評価（学校教育班）

○事務事業の取組（進捗）状況のまとめと評価（各班）

○事務事業の評価に基づく重点施策の評価（学校教育班）

③ 学識経験者からの意見聴取（6月～7月）

④ 点検・評価についての審議及び決議（6月教育委員会）

⑤ 点検・評価報告書を柳津町議会へ提出（7月議会全員協議会）

⑥ 柳津町広報誌、柳津町ホームページ等で町民への公表（7月～）

柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の点検・評価実施要綱

柳津町教育委員会

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和36年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、柳津町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況及び教育委員会が定める重点施策とする。

(点検及び評価の期間)

第3条 点検・評価は、当該年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第4条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。以下同じ。）は、第2条に規定する事項について必要な書類を整理する。

(点検及び評価)

第5条 点検及び評価は、前条に規定する資料に基づき、学識経験者の意見を聴取した上で教育委員会において行う。

(点検・評価に関する有識者)

第6条 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を置く。

2 点検・評価に関する有識者は、小中学校保護者及び教育関係者等、教育に関し知見を有するものの中から教育委員会が選任する。

(議会への報告等)

第7条 教育委員会は、当該年度の点検及び評価を行った後、その結果をまとめた報告書を作成し、これを柳津町議会へ提出するとともに公表する。

(庶務)

第8条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育課学校教育班において行う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年2月27日から施行する。

メ

モ

